

☆☆



せりがやだより

横浜市立芹が谷小学校 令和5年 8・9月学校便り

☆☆

「一人はみんなのために みんなは一人のために」

校長 熊谷 真理子

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が戻ってきました。みんなの笑顔にほっといたしました。長期休業中ならではの経験をしたことでしょうか。充実していた様子が子どもたちの表情から伝わってきて、安心いたしました。

さて、今年スポーツ界では様々な国際大会が開催されています。3月にWBCが開催され、侍ジャパンの選手が活躍したことは、記憶に新しいところです。バレーボールネーションズリーグでは、男子チームが世界の強豪を相手に10連勝して、銅メダルを獲得しました。また、8月25日にバスケットボールワールドカップが開幕し、選手たちが活躍しています。そして、9月にはフランスでラグビーワールドカップが開催されます。今から4年前、日本でラグビーワールドカップが開催されました。2019年のことです。「ONE TEAM」で臨んだ試合は、毎回熱戦が繰り広げられ、わくわくしながら観戦したことを思い出します。この時、日本のチームは、史上初のベスト8になりました。

ラグビーは、1チーム15人のメンバーで試合を行います。スクラムを組む8人が、FW（フォワード）です。背番号9番から15番の7人は、BK（バックス）と呼ばれています。そして15人のメンバーは、それぞれ自分の役割が決まっています。それぞれの役割を果たし、同じ目的、勝利を目指していくのです。ラグビーには、「One for all, All for one」という言葉があります。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」です。体格もパワーもスキルも違う15人の仲間が、一つの目的（トライ）に向かって全員が力を合わせて取り組んでいきます。試合中は、互いに仲間を信頼し、リスペクトし、フォローし合ってトライを目指していくのです。試合後は、「ノーサイド」、相手チームの仲間とも互いの健闘を称え合います。ラグビーは、そのようなスポーツです。

学校も様々な役割、立場の職員がいます。私たちも互いの仲間を尊重し、フォローし合い、同じ方向性で「共にチャレンジ みんな輝け！」の学校教育目標に向かってそれぞれの仕事を進めていきます。教育課程全体で育成を目指す資質・能力をとらえ、小中一貫教育推進ブロックにおける9年間で育てる子ども像を小・中学校で共有し、子どもたちのよりよい成長のためにできることは何かを考えて、チームで取り組んでいきます。

保護者のみなさま、地域のみなさまにおかれましては、子どもたちのためにご尽力していただき、感謝申し上げます。夏休み後も引き続き、温かいまなざしで見守っていただけると幸いです。

とも **共にチャレンジ** かがや **みんな輝け!**